

新潟市民病院 公開・オプトアウト書式

テンプレート

申請番号 21-091	
研究課題名	日本産科婦人科学会データベース登録事業(周産期登録)
情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	本邦における産婦人科領域の診療の現状(妊娠、分娩、不妊、悪性腫瘍など)を把握することで、様々な課題を抽出し、より良い産婦人科医療に反映することを目的として、日本産科婦人科学会(日産婦)ではデータベース登録事業を行っている。診療記録から抽出された情報を匿名化し、誰の情報か分からぬようにした上で、Web または郵送にて日産婦に提供している。日産婦でデータの統計解析を行い、その結果を日産婦雑誌やHPに掲載している。
利用または提供する情報の項目	年齢、入院理由、不妊治療の有無、母体紹介の有無、妊娠・出産回数およびその内訳、喫煙飲酒歴、分娩週数、分娩方法、麻酔法、分娩胎位、誘導・促進の有無および方法、胎児心拍パターン分類、産科合併症、母体処置内容、出産体重、性別、Apgar値、臍帯動脈pH、児体格、児疾患名、胎児付属物所見、産科既往歴、母体基礎疾患、母体感染症、母体使用薬剤、母体転帰、児の転帰
対象者及び対象期間	当院で分娩された女性 2017年1月1日から1年間 以後 1年ごとに更新
利用の範囲	日本産科婦人科学会
試料・情報の管理について責任を有する者	新潟市民病院産婦人科 産科部長 倉林 工
問い合わせ先	新潟市民病院産婦人科 産科部長 倉林 工 TEL 025-281-5151
共同臨床研究機関	日本産科婦人科学会
備考	